学　習　の　指　針（シラバス）

教科名	音楽	実施学年	2 年	週時数	1.5 時間

1　学習の目標等

学習の目標	（1）歌詞の内容や曲想を理解し、曲ふさわしいに音楽表現を主体的・協働的に歌唱する。 （2）音楽の楽典（音符の長さ、種類、拍の特徴、音の高低、強弱、曲の形式）を知覚し、それらの生み出す特質や雰囲気を感受しながら演奏する。 （3）創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に歌唱、器楽で表していく。 （4）様々な音楽を聴き、曲の特徴やその背景となる文化・歴史・作曲の思いを感じ取る。 （5）音や音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的、共働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む。
使用教科書 副教材等	ミュージックノート、ファイル、楽譜

2　学習計画及び評価方法等

学期	月	学習内容	学習のねらい	評価	備考
第1学期	4	・音楽の授業についての説明 ・「校歌」 手拍子などを行い、リズムを覚える 階名唱を行い音の幅や音高を覚える ・楽譜の書き方を学ぶ 楽譜の書き方について学ぶ 写譜したものを提出 ・校歌歌唱テスト ・「夏の日の贈り物」 階名唱を行う 旋律の上がり下がりを手で表す。 斉唱・多声的な 2 部合唱・和声的な 2 部合唱の 3 つ	・音楽室への移動、教室での使用の注意、持参する物、移動の注意事項、授業についてのマナーを身につける。 ・歌詞の意味を理解し、リズムや音程を覚え歌唱する。 ・「校歌」を一人で歌える。 ・一人一人の声に耳を傾ける。 ・音程、リズムを身につけ、一生懸命に歌唱する。 ・五線の各部分の名称（第一線から第五線）までとト音記号の書き方（G の音を起点とする記号であること）を覚える ・小節線の書き方と終止線の書き方を覚える。 ・各音符の符幹の長さを正確に書くようにする。 ・各個人がどのくらい歌唱力を身につけたか確認し、今後の指導に生かす。 （歌詞、歌う姿勢、口形、声の出し方、リズム） ・旋律の動きやフレーズ、強弱の変化を生かし、曲にふさわしい歌唱表現を創意工夫することができる。 ・強弱記号やスラーなどの用語と記号について理解することができる ・斉唱・多声的な 2 部合唱、和声的な 2 部合	授業中の態度 授業中の歌唱 階名唱を正確に歌えているか 授業中の態度 正確に写譜できているか 正確な言葉、音程、リズムで歌えているか 歌唱の技能をどの程度身につけているか	

	5 6 7	の部分を理解する ・「フーガト短調」 パイプオルガンの響きを感じ取り音楽の良さを考える。 旋律が重なり合うことを理解し、その面白さを感じ取る。 ・合唱曲 3部合唱を歌唱する 響きのある声を感じ、試行錯誤しながら技能を身につける。 ・歌唱テスト 1 人ずつ自分のパートを歌う	唱の 3 つの音の重なり方の理解を深めることができる。続く教材で「音の重なり」という視点を持てるようにする。 ・パイプオルガンの仕組みを理解し、音色と曲想の関わりについて感じ取ることができる。 ・旋律が繰り返し現れていることを感じ取ったり前時に身に着けた「楽譜を見る」という視点から見つけ出したりすることができる。 ・旋律が繰り返し現れる「フーガ形式」を理解しその面白さを感じ取る。 ・歌詞の内容や曲想を感じ取り、全体の響きを感じ取り、仲間とともに表現し歌唱する ・表現に必要な技能（発声、言葉の発音、体の使い方）を身につけて歌唱で表している。 ・各個人がどのくらい歌唱力を身につけたか確認し、今後の指導に生かす。 （歌詞、歌う姿勢、口形、声の出し方、リズム）	授業中の発表 ワークシート ワークシート 授業中の態度 授業中取り組み 正確な言葉、音程、リズムで歌えているか 歌唱の技能をどの程度身につけているか	
第2学期	9 10 11 12	・合唱曲 3部合唱を歌唱する 歌唱テスト 各パート数人でアンサンブルのテストを行う。 ・トーンチャイム 「もののけ姫」 トーンチャイムについて学ぶ 音を割り振る 手拍子で練習する 裏拍や 16 分音符の練習をする トーンチャイムで練習する	・パートの役割を理解し、ふさわしい表現をする。 ・パートの重なり合いについて前時とのつながりを持つ。 ・全体の構成を理解して表現する. ・響きを感じながら歌唱しているか ・他パートと合わせながら歌唱しているか ・「もののけ姫」の全体の音楽を聴き、どんな楽器で演奏しているかを考える。 ・トーンチャイムの音の特徴を理解し、演奏の仕方、響き、ドイツ音名を学ぶ。 ・自分の音を決め、楽譜に印をつける。そして主体的に演奏する。 ・階名、リズムを理解し、手拍子演奏をすることで、各個人の楽典能力を身につける。 ・全体を３つのグループに分け、リーダーを中心に練習ができるようにする。 ・全体の曲の流れを感じながら、自分の音を手拍子で演奏する。 ・テストの録音を聴き、抜けている音やリズム等の確認し、今後の練習につなげていく。 ・他のグループの演奏を主体的に聞き、良いところ、直す部分を聴きとることができるようにする。	授業中取り組み 正確な音程、言葉、リズムで演奏しているか 他パートと合わせて演奏しているか 授業中取り組み	

		トーンチャイムテスト個人 トーンチャイムテストグループ	・自分のパートを正確に演奏することができているか ・リズムを感じて演奏しているか ・響きのある音で演奏しているか	・自分のパートを正確に演奏することができているか ・リズムを感じて演奏しているか ・響きのある音で演奏しているか	
第3学期	1 2 3	合唱曲「My Own Road」 母音唱を行う 響きを感じながら歌唱する。 歌唱テスト 交響曲５番「運命」 ・オーケストラの楽器について理解する ・交響曲５番の動機について理解する ・動機と主題の関係について学ぶ ・指揮をする	ハーモニーの美しさを感じながら歌唱する。 ・ハーモニーを感じながら歌唱しているか ・オーケストラの楽器について理解している ・動機と主題の関係について理解し、第一主題と第二主題について音楽的な良さや美しさを味わって聴く ・学んだことを基に指揮を振ることができる	授業中の取り組み ワークシート 授業中取り組み	

３　評価について

評価の観点及び内容・評価材料

観点	評価の観点及び内容	評価材料
知識・技能	・曲想の音楽の構造などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につける。	技能テスト、発表の時や授業での様子を評価する。
思考・判断・表現	・音楽の形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それぞれの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととに関わりについて考える。また、曲にふさわしい音楽表現をどのように表すか考え、音楽を自分なりに評価しながら良さや美しさを味わって聴く。	友達の音楽や録音した音楽を聴き比べ、知覚・感受した内容とそれらの関わりについて考える状況を評価する。また音楽の特徴を理解したことを生かしながら、よさや美しさを味わって聴いている状況を評価する。
主体的に学習に取り組む態度	音や音楽に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組む。	鑑賞：音楽の特徴や背景などと関連付けながら、自分の考えをプリントに書き鑑賞する内容を評価する。技能：録音した音楽の良いところ、直すことを聞き分け、主体的に練習する姿勢を評価する。良い音の響き、良い演奏を意欲的に聞き取り、演奏できるように取り組む姿勢を評価する。

☆印の項目は、授業に欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。